

オーストラリアの思い出



藍住中学校 梶原 蒼生

僕は、最初オーストラリアに行く前はすごく不安でした。なぜなら、今まで習ってきた英語で本当に会話できるのかと不安に思っていたし、ホームステイで何か迷惑をかけることがあるかもしれないことやオーストラリアは日本と違ってドルなのでお金の使い方で何か失敗をしないかなど心配に思っていたからです。けれど、初めての海外なので日本と違うところを実際に見て学ぶことができるので不安だけでなく楽しみもありました。



9泊10日の海外派遣事業では、まず空港に行って入国審査など緊張しました。飛行機では、約10時間だけど映画やオセロなどのゲームがあったので嬉しかったです。オーストラリアに着いたら日本とは違ってすごく寒かったし、言語が違うので少し怖かったです。オーストラリアに着いてまず市内観光でシドニーに行きました。シドニーでは、高い建物が立ち並んでいて日本では見ることのできないシドニータワーやオペラハウス、ダーリングハーバーなどが見られたので嬉しかったです。市内観光で一番楽しみにしていたオペラハウスは、テレビで見たものよりも迫力がありました。その日の夕方、ホームステイ先の人と会いました。会った時は、外国人と向き合って話をするのがこれまでなかったので、すごく緊張しました。だから、積極的に話しようとしてくれているのにうまく続けられなかったり、聞きたいことがあっても言えなかった時もありました。けれど、自分の目標であった「積極的に会話をする」ということを思い出して単語だけでも話をしたら相手に伝わり、とても嬉しかったです。その時から自分の言葉に自信が持てるようになれました。そして、海や動物園など様々な場所へ連れて行ってくれたり、家で8才の男の子と遊んだりしていたら、自然と会話をするこ

れて本当の家族のように接することができるようになりました。日本からのお土産を渡した時には、とても喜んでくれて嬉しかったし一緒に折り紙を折った時には、とても上手くて日本語のあいさつも覚えていて使ってくれたり渦潮のことを教えた時、すごく興味をもって聞いてくれたので日本の事を知ってもらえて嬉しかったです。

学校では、驚いたことがたくさんありました。それは、1人1台パソコンを持っているところや休み時間には、バスケットボールやラグビーボールが使えるところやお弁当の中身がほぼフルーツだということなどです。そして、学校の人々に共通していえる事は、とても親切でフレンドリーなところだ。先生も優しく授業を楽しませてくれました。自分のバディや他の生徒達とも友達になれました。文化紹介では、伝わるのかなと緊張していたけど全員まじめに聞いてくれて嬉しかったです。

この10日間は、本当にあっという間でした。僕は、この10日間で成長できたと思います。コミュニケーションの大切さなどオーストラリアで学んだ事を将来に活かし、次はもっと英語を喋れるように努力していきたいです。

